



News Letter

ニュースレター

Vol.4



2022.2.18

上越市 産業観光交流部 観光交流推進課

市内で様々な活動をしている“ヒト”同志が知り合い、そのヒトから「気付き」を得る、市内の豊富な“資源”を知り、良いところに「気付く」ことで、新たな事業（プラン・コンテンツ）を生み出したり、既存事業をより充実させる場として、観光地域づくり実践未来塾の令和3年度連続講座を開催しています。



クラウドファンディングと補助金活用のコツを学ぶ

第4回目は、READYFOR株式会社の三ツ瀬友亮さん、越後謙信きき酒マラソン実行委員会の荒木克さん、上越信用金庫の林靖さんを講師にお招きし、1月19日（水）に上越市教育プラザで開催。残念ながら三ツ瀬さんはリモートでの出演となりましたが、宿泊・交通・農業・団体・行政など様々な分野の42人から参加いただきました。

クラウドファンディングについて理解を深める

三ツ瀬さんからは、クラウドファンディングの仕組みや事例紹介のほか、プロジェクト準備のポイントについて説明いただきました。

「クラウドファンディング＝資金を調達する方法」とイメージされる方もいらっしゃるかもしれませんが、昨今では資金調達以外のサブ目的を掲げるケースも多数あるとのこと。サブ目的として、PR、テストマーケティング、ブランディングなどがあるそうです。そのような活用事例として、お店をオープンする際にお店のPRや集客を目的に実施し、リターンにお店のチケットを設定することで、お店に足を運ぶきっかけを作り、固定客の獲得につながった例が紹介されました。



講義の様子。三ツ瀬さんがお話している姿と資料をスクリーンに投影し、ご参加のみなさんにお聞きいただきました。

また、クラウドファンディングするにあたって大事なこととして、①プロジェクトの内容を整理すること、②誰に支援してほしいのかターゲットを明確にすること、③戦略を立てること（支援の輪は「つながりのある身近な方々→出身者→来訪者→県外/繋がりのない方」に広がり、支援が集まり始めることでプロジェクトが信頼されやすくなる）、④事前広報をすること（公開前から達成に向けて走り出しておく＝準備が9割と言われる）というお話がありました。

★クラウドファンディングの目的の例（お金+〇〇）

（三ツ瀬氏資料を参考に作成）

資金調達

+

ブランディング / プレスリリース / PR
/ チームビルディング / テストマーケティング
/ 仲間集め / 初任研修 / 自社HPの代替 / EC

★プロジェクトの内容整理→「5W1H」で書き出す

例えばお店なら… （三ツ瀬氏資料を参考に作成）

When	いつ開店するのか
Where	どの場所に店を構えるのか
Who	誰がオープンするのか
What	何を販売するのか
Why	どういう目的でお店を開店するのか
How	どうやって「Why」を達成するのか

クラウドファンディングの活用事例

続いて、越後謙信きき酒マラソン実行委員会・荒木さんから、クラウドファンディングを活用した際の経験談をお話いただきました。2021年に7回目の開催を迎えた越後謙信きき酒マラソンですが、第4回を開催するタイミングでクラウドファンディングを行い、プロジェクトを達成されています。エピソードのすべてはご紹介できませんが、お話の一部をまとめてみました。



★心を打つ文章作成

ストーリー、熱意、ワクワク感など、共感してもらえたり、魅力を感じてもらえる文章にする。きき酒マラソンに参加しているランナーさんを思い描きながら作成。

★リターンに工夫

グッズのお返しだけでなく、運営側と一緒に楽しめるものや、突き抜けたものも用意

★担当一人でやらない(反省点)

プロジェクトページの途中経過の更新や、支援者への返信など、チームで協力して行うと◎

気を付けた点

★コアファンの獲得

★クラウドファンディングの挑戦がPRとなる

★応援してもらえる喜び

★市場調査としての効果

突き抜けたリターンとして設定した「大会のBBQエイドで贅沢ステーキ肉」を、第5回大会のエイドとして導入(VIPクラスでエントリーした人限定)

やってみて良かった点

補助金活用のポイントと留意点

最後に、上越信用金庫・林さんから、補助金活用をテーマにご講義いただきました。林さんのお話では、補助金の相談窓口として「経営革新等支援機関(認定機関)」を紹介いただいたほか、関心の高い補助金メニューについて、それぞれの要点とともに説明いただきました。

補助金を申請する際の留意点では、「補助金受給そのものが目的化しないように気を付けて」とのこと。取り組みたい事業があるうえで、それを実現するための資金を補うのが補助金の正しい使い方とのお話がありました。また、事業のビジョンを明確化する必要性についても触れ、事業が目指すビジョンが分かると、より具体的に実現性の高い計画を申請書に反映できることのみならず、最適な補助金を活用できるとのお話がありました。



担当者のキモチ

第4回目の連続講座にご参加いただいた皆さん、ありがとうございます。今回の講座は、373さんに代わって、私3870が講座の準備から運営まで担当させていただきました。多くの方にご参加いただき、嬉しく思っています。

三ツ瀬さんにご講義いただく直前に、オンラインミーティングの接続が一度途切れてしまうというハラハラ展開がありました。なんとか無事に講座を終えることができました。不慣

れな点がありましたが、講座運営にご協力くださり、ありがとうございました。

さて、今回のテーマはクラウドファンディングと補助金の二本立てでお送りしました。

特にクラウドファンディングは、興味はあるがまだ挑戦したことがない…という方が参加くださったと思うので、この講座を通じて、理解を深めていただいたり、挑戦のきっかけにつながったら幸いです。

お話を聞いて、「「取組の目的」を

しっかりと持つことが大事」ということが、お三方の話に共通する部分だと感じました。私自身も業務を行う中で、「目的」が頭から抜けている時もあるかも…とドキッとしたのですが、「5W1H」で取組みの整理を行い、「目的」を常に念頭に置きながら業務にあたりたいと思います。皆さんの中でも、今回の講座を受けて、ご自身の取組みを後押しする知識や考え方などを持ち帰っていただけたのなら、嬉しい限りです。(3870)